

# 水稻用初期除草剤



# 草笛<sup>®</sup>ジャンボ<sup>®</sup>

代かき後から使用できる初期除草剤です。



SU抵抗性  
ホタルイ・アゼナに、  
高い除草効果を  
示します。



コナギ



ノビエ



ミズガヤツリ



ヘラオモダカ

## 特長

- 投げ入れるだけ
- 移植前から使用できる
- SU抵抗性雑草防除に最適
- クログワイに有効
- 水稻にやさしい

50g/個のジャンボ剤(錠剤)を畦畔から投げ入れると水中に沈んでから拡散します。

水稻の植代後から、また移植直後から散布できます。

問題のホタルイ、アゼナ類、広葉類に高い効果を示します。

難防除のクログワイに効果があります。

優れた選択性を示し、水稻に対する影響はほとんどありません。

## ■上手な使い方

### ●使用量

草笛ジャンボを10アール当たり10個水田に投げ入れます。(10アール ➔ 10個)

### ●使用時期

植代後

-7

移植直後

ノビエ1葉期まで\*

一発剤等

使 用 時 期

使 用 時 期

有効成分及び含有率:  
クミルロン 15%  
ペントキサゾン 4.5%

※但し、移植後30日まで

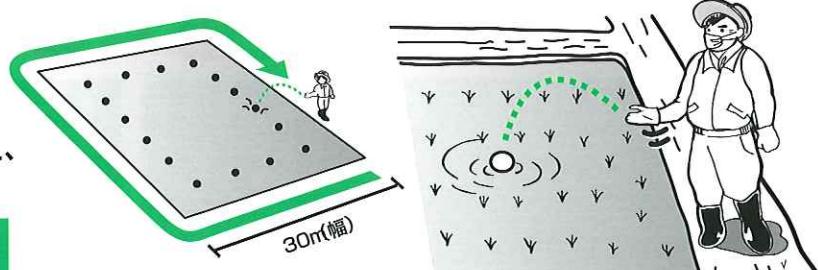
- 植代後から移植前7日、又は移植直後からノビエの1葉期までに散布してください。
- 体系処理によって的確で長い効果が期待できます。必要に応じて、一発剤・中期剤と体系で処理してください。

### ●使用方法(散布例)

\*幅30m規模の水田では、畦畔からの散布が可能です。

\*幅が40mを超える水田では、畦畔散布に加え、田内散布を行なって下さい。

\*処理地点に白く残ることがありますが効果薬害に問題はありません。



- 畦畔を歩きながら、7~10m間隔で投げ入れて下さい。

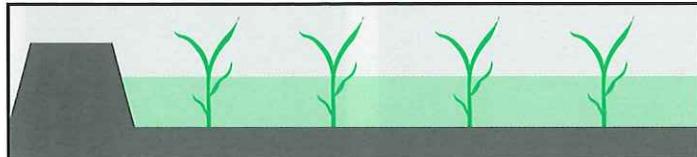
### 草笛ジャンボの適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当たり使用量	総使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、 ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北) クログワイ (北海道を除く) コウキヤガラ (関東・東山・東海)	移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで	砂壌土～埴土	10個 (500g)	本剤のみ: 1回	水田に 投げ 入れる	北海道
	植代後～移植前7日 又は 移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで	クミルロンを 含む農薬の 総使用回数: 2回以内			全域(北海道を除く) の普通期 及び 早期栽培地帯		
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ (北海道)	植代後～移植前7日 又は 移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで		20個 (1kg)	ペントキサゾン を含む農薬の 総使用回数: 2回以内		全域 の普通期 及び 早期栽培地帯

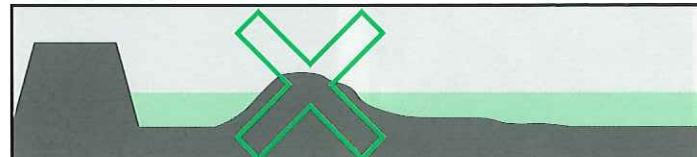
●クログワイ、コウキヤガラの防除はクログワイ、コウキヤガラに有効な後処理剤(一発剤、中期剤等)と組み合わせて使用して下さい。

## ■散布時の水管理

- 散布時は、水深5~6cmにして下さい。



- 田面が露出したり、浅水にしないで下さい。



※本剤の散布に当たっては、水の出入りを止めて5~6cmの湛水状態で投入して下さい。

※田面が露出していない状態で投入して下さい。※処理後3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm程度)を保ち、散布後7日間は落水しないで下さい。

### △安全使用上の注意

- \* 敷設の際は手袋などを着用すること。  
\* かぶれやすい体质の人は取扱いに注意すること。
- \* 濡れた手で扱わないこと。  
\* 開封後はすみやかに使いきること。

- 使用前にはラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

丸紅株式会社

東京都千代田区大手町1-4-2  
電話 03-3282-7231